

# 平成15年度秋田県病院事業会計決算審査意見書

## ( 審査の結果及び意見 )

### 1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、その調製手続き及び計数に誤りがなく、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示していることを確認した。

### 2 経営状況について

#### ( 1 ) 経営成績について

平成15年度の経営成績は、収益総額78億7,500万円、費用総額75億7,129万円で、差し引き3億371万円の純利益となっている。純利益を計上した主な要因は、前年度に比較して医業収益が8,358万円(2.3%)、病院に対する一般会計補助金が8,994万円(2.3%)、それぞれ増加したことや退職給与金の減少などにより医業費用が4億3,794万円減少したことなどによるものである。

純利益は、その全額が繰越欠損金(3億1,338万円)の補填に充てられ、この結果、当年度未処理欠損金は966万円となり、前年度と比較し3億372万円の減少となっている。

#### ( 2 ) 財政状態について

平成15年度末の財政状態は、資産総額225億7,408万円、負債総額7億2,843万円、資本総額218億4,565万円となっている。

前年度末に比較して資産総額が1億2,745万円(0.6%)の減、負債総額が1億9,592万円(36.8%)の増となったため、資本総額では3億2,338万円(1.5%)減少している。資本減少の要因は、借入資本金(企業債)が定期償還により6億2,709万円減少したことによるものであるが、当年度純利益の計上により剰余金は前年度より3億371万円増加しており、財政状態は好転している。

また、流動資産は52億6,858万円、流動負債は7億2,843万円で、差し引き正味運転資本は45億4,015万円と前年度末より2億8,528万円(6.7%)増加している。

### 3 留意改善を要する事項

診療費の自己負担に係る未収金については、「未収金取扱要領」を定め債権管理に努めているが、未収金額が増加傾向にあるので、その発生防止と適切な債権管理による収納の推進に一層努める必要がある。

また、業務委託契約などについて、予定価格の積算が不明確なものや本来競争入札に付すべき契約を随意契約で行っている例が見受けられるので、競争性、透明性、経済性の見地から改善する必要がある。

さらに、物品購入等において、不適切な会計処理が見受けられるので適切な処理に努める必要がある。

なお、医療制度改革に伴う診療報酬の改定や医療費の自己負担率の引き上げ等、病院経営を取り巻く環境は引き続き厳しいものがあると考えられるので、中期的な経営見通しを明らかにしながら、医業収益の確保や医業費用の節減など事業の効率的な運営を図り、両病院の専門的医療機関としての機能を十分に発揮し、県民医療の向上に一層貢献されることを期待するものである。